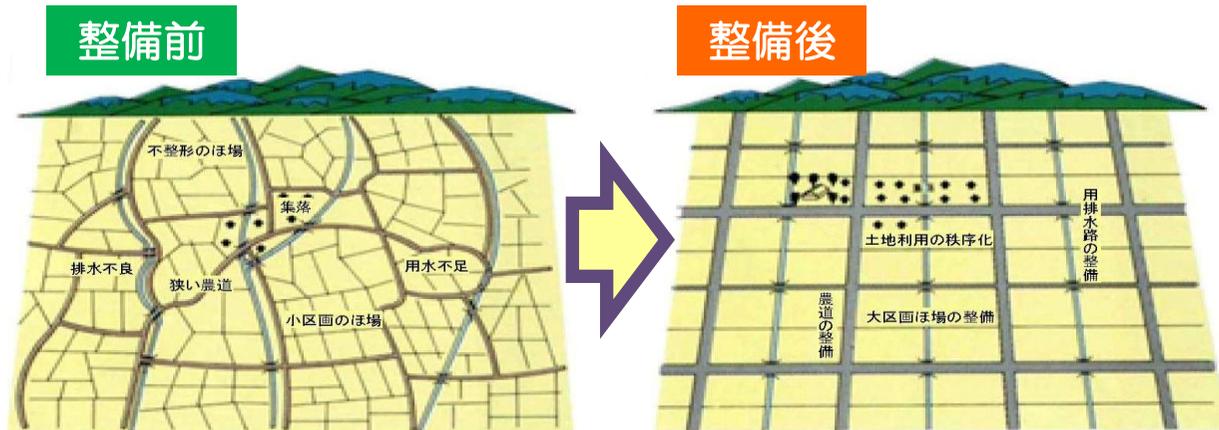


(3) 展開方向 ア) 担い手への農地の集積・集約化の推進

【主な取組】

- 基盤整備を契機とした農地の集積・集約化の推進。
 県内農業の競争力強化を図るためには、担い手の経営規模を更に拡大し、効率的な営農を実現していく必要があります。
 このため、ほ場整備などの基盤整備を実施し、これを契機として担い手に対して面的なまとまりのある農地の利用集積を促進します。



【活用する主な事業】

経営体育成基盤整備事業 など

【三八地域の主な実施地区】



経営体育成基盤整備事業
 名川第二工区地区（南部町、H30～R5）

【参考資料】 水田の整備状況

単位：ha

地域	水田面積 ①	R3年度まで 整備済面積②	左 の 内 訳		未整備面積③ ③=①-②
			30a以上	30a未満	
三八地域計	7,379	5,974 (81.0%)	1,677 (22.7%)	4,297 (58.2%)	1,405 (19.0%)
県計	79,200	68,132 (86.0%)	44,851 (56.6%)	23,280 (29.4%)	11,068 (14.0%)

- ※ 整備済面積は、平成30年度までの「東北農政局調べ」面積に、令和元年～令和3年の整備面積を合算したものの。
- ※ 水田面積は「耕地及び作付面積統計」（農林水産省）による。
- ※ 単位未満は四捨五入のため、計と一致しない場合がある。